

アカデミズムの中心へ

ニュース専修

毎月1回15日発行 (定価一部590円) 発行所 専修大学広報課 101-8425 東京都千代田区 神田神保町3-8 03-3265-5819(直)

専修大学 ホームページ

http://www.senshu-u.ac.jp/

主なニュース

- ② 商学研究科と東京信用保証協会が公開講座／図書館「阪谷芳郎関係書簡集」で協会賞
- ③ 2015「専大カップ」オール上郷が10代目王者に
- ④ 「高校生のための経営学実践講座」53人アイデア競う
- ⑤ 「石巻専修大学」陸上競技場に400トトラック完成
- ⑥ 理工学部生物学科が海洋生物学実験



2015年度 神田鳳祭

日程: 10/10(土) 11(日)

場所: 神田キャンパス

◇神田鳳祭実行委員会
http://kanda-ohtori.jimdo.com/

創立136年 鳳祭

日程: 10/31(土) ~ 11/3(火・祝)

場所: 生田キャンパス

◇鳳祭実行委員会
http://ohtori-senshu.com/

生田キャンパス 整備進む

新2号館 多様な学習スタイル 新3号館 研究発信機能の強化

生田キャンパスの新しい顔となる新2・3号館(仮称)の整備が進んでいる。先進的な学びの形「アクティブ・ラーニング」に対応した施設と、大学院の研究室などが集まる新たな「知の発信基地」は、7月に着工し、2016年12月の完成を目指す。新2・3号館について、矢野建一学長に建設方針や、期待する成果などについて伺った。

矢野学長に聞く

生田新2・3号館の概要をお聞かせください。生田旧2・3号館は東日本大震災で被災し、教室として使えなくなりました。そのためキャンパス整備計画を見直し、不足している機能や、新たに取入れたい機能について議論し、新2・3号館建設となりました。新2・3号館は、かつての大教室中心の構成から大きく転換しました。現在は少人数教育の時代



生田新2・3号館の完成予想図と建物構成

7F	多目的コミュニケーションスペース	中教室	中教室
6F	教員研究室	ラーニングスタジオ2	音響室/展示室
3F	大学院生教室	ラーニングシアター	ラーニングスタジオ1
2F	大学院生研究室/キャレル/史学・地理学実習室		
1F	社会知性開発研究センター		
B1F			



スタイルに対応できる施設です。音響・映像設備が充実したラーニングスペースと、200人収容できるラーニングシアターを有し、学習効果を高めるメカニズムを作りだすことを目指しています。学生は通信や情報のやりとりには精通していますが、それは個人的なレベルで終わっています。もう少し学生相互に情報共有し、学習効果を高めるメカニズムを作りだすことを目指しています。

140周年に向けて神田も整備

大学院の研究環境はどうか。私の大学院生時代と比べると雲泥の差です。研究環境は飛躍的に良くなりましたので、いい研究を期待しています。社会知性開発研究センターについても、現在は複数の研究プロジェクトを同時進行するには手狭でした。新3号館に新たに施設を構えることで、常に4〜5種類の研究を動かすことができます。研究チームにとっても元気が出る話ではないでしょうか。これからの生田キャンパスの姿は

新2号館はアクティブ・ラーニングの機能が充実しています。学生の能動的な学習への参加を取り入れたアクティブ・ラーニングの機能は、神田5号館がその先駆者の役割を果たしてきました。新2号館建設により、生田校舎におけるアクティブ・ラーニングの機能もさらに充実し、専修大学の魅力の一つになると思います。新2号館にはさまざまな設備やスペースが用意され、その利用方法は実に多彩になります。多様な学習スタイルが実現し、学生の新しい能力開発に資することを大いに期待しています。たとえばラーニングシアターでは記録映画の上映も可能となります。学生が自分たちで映像を作り、披露すること

新校舎は、生田緑地と調和するような外観になるよう配慮しました。生田はゆたかりとした自然環境を享受できるようにキャンパスにしたいと思っています。今後、さらに深化したアカデミックな教育システムの場として機能していくのはいかがでしょうか。今回の整備では、新3号館は研究棟、新2号館は新しい学習のあり方を模索する場として作り、研究促進の場、そして学生の能動的な学習・教育の発信の場になるよう期待しています。これから

も容易になります。実際には利用状況や方法を検証しながら、より効果的に学生への教育に活用し、成果を上げていきたいと思っています。アクティブ・ラーニングのような授業運営はこれからの大学教育の中心になるのでしょうか。アクティブ・ラーニングとは、大学側からいえば学業支援システムのことで、一方、学生側からすると、それはゼミなどの授業運営をさらに深化させることが重要です。新2号館では、教員が学生に一方的に教授するのではなく、双方向的な授業運営をさらに深化させることが重要です。

育友会支部懇談会 全国63会場で開催



大学からの説明に耳を傾けるご父母・保護者の皆さん(神奈川県・西支部)

ご父母・保護者に、大学の現状や学業・就職サポートなどについて教職員が丁寧な説明。また、キャンパスの様子や育友会活動、卒業生の就職活動体験などを紹介したDVDも上映され、参加者は「離れていても大学や就職のことがよく分かる」と熱心に見入っていた。

希望者には個人面談、グループ面談が行われ、教職員が単位修得状況や、就職についてアドバイスした。

113面に詳報